「総合的な学習の時間」学習指導案

指導者　菅原　大樹

１．日時　　平成２５年１１月２０日（水）
２．学年・組　　第３学年１組　　３３名
３．学習場所　　第１音楽室
４．単元名　　「ショートステイすいらんと交流しよう」
５．単元について
（１）児童の実態

本学級の児童は、前向きに物事に取り組む様子が見られる。特に総合的な学習は３年生になって初めて取り組むということで、児童の関心も高かった。１回目のショートステイすいらんとの交流会では、「利用者の方にできることは何か」「利用者の方に喜んでもらえることは何か」という視点をもちながら、自分の意見や考えを互いに伝え合い、意見交換をして、よりよい表現方法を自分たちで探しながら活動していった。子どもたちの中には、高齢者の方や施設の職員の方にショートステイすいらんについて詳しく教えていただいたので、今度は下田小学校のことについて紹介したいという思いが芽生えている。この気持ちを大切にしながら、２回目の交流会では、利用者の方に自分たちのことを知ってもらうための方法や手段として視聴覚機器を活用しながら、下田小学校のことを紹介する会を行う。また、発表を聞く側の立場に立ってお互いの発表を見合い、デジタルカメラの動画機能を活用して自分たちの発表を客観的に見ながら改善していくことで、自分たちの発表をよりよいものにしていくようにする。

（２）単元設定の意図

社会科学習の一環で下田小学校の学区を探検する中で、下田小学校のすぐ近くにある「ショートステイすいらん」は一体どのようなところなのかという関心が強くなった。以前に中に入ったことのある児童が数名いたものの、高齢者の方が利用していることは知っているが、施設内はどのようになっているのか、何をする場所なのかということは知らない児童がほとんどであった。初めて施設内を見学させていただいた時には、高齢者や車椅子の方も利用できる大きなエレベーターやお風呂など利用する高齢者にとって使いやすい作りや構造になっていることに驚いた様子だった。中には、利用者の方が作った貼り絵や川柳を見つけ、利用者のしていることに関心をもつ児童や、利用者の方と一緒に何か活動をしたいという思いをもつ児童も出てきた。そこで、利用者との交流の中で、相手のことを考えて行動することの大切さを感じてほしいと考えた。また、利用者のことを考えた活動をすることで、相手が喜んでくれることを自分の喜びと感じてほしいと考え、この単元を設定した。

（３）研究テーマとのかかわり

〇研究テーマに迫るための具体的な手立て

研究主題：わかる・楽しい授業のための教育メディアの効果的活用方法を探ろう
～学びを深め、広げる情報・視聴覚教育～

① わかる・楽しい授業のための効果的なメディアの活用

メディアの最大の利点としては、自分の伝えたいことを相手により効果的に伝えることができることである。児童の中には、自分の思っていることを言葉だけでは伝えることが苦手な児童もいる。伝えることが苦手な児童であっても、多様なメディアを用いることで自分の伝えたいことをより相手に伝えやすくなる。情報を受信する人が分かってくれたということが、児童にとっての楽しさや喜びになり、自分のことを発信していきたいという原動力となっていくと考える。

また、動画で自分たちの発表の様子を撮影することで自分たちの発表の様子を客観的に知ることができる。自分たちの発表を改善し、よくなっていく様子を記録しておけることから、自分たちの成長を実感し、さらによいものにしていこうという意欲につながる。活動を主体的に、意欲的に行うために視聴覚機器を効果的に活用していきたい。

② 学びを深め、広げる情報・視聴覚教育

研究主題にある「学びを深め、広げる」ための手段として情報・視聴覚機器は有効であると考える。情報や視聴覚機器の特性を生かして次のような手順で授業を展開していく。①情報を発信する目的を決める。②どんな情報を集めるか絞る。③情報を集める。④集めた情報を検討し、構成する。⑤構成した情報を修正、調整する。⑥情報を発信する。

③は情報を集める方法として、紙に書くことだけでなく、写真、動画、音声といった様々なメディアを提示することで発表の可能性を広げることができる。例えば、写真では同じ被写体であってもアングルやフレーミングで違った情報を伝えるように、同じメディアであっても可能性は広がっていく。その中から、④や⑤では、①で決めた伝える相手（今回はショートステイすいらんの利用者）を意識して素材を選び、発表を構成していく。自分たちの伝えたいことを相手により伝えるようにするためにはどうしたらよいのかということを視点に考えながら情報を検討し、お互いに発表を見合いながら修正、調整をする。視点がはっきりすることで目的意識がはっきりとし、情報を受信する人にとってよりよい発表にするために発表の内容を考え、深めていくことができるのではないかと考える。

また、今回は発表を修正、調整する段階で、デジタルカメラの動画機能を活用する。子どもたち同士で発表を見合い、お互いのよいところや課題を明らかにし、さらに自分たちの発表の様子を客観的に見ることで、自分たちの発表の修正、調整するポイントをより明確することができる。そして、そのポイントを改善していくことで、自分たちの発表をよりよいものへと深めていくことができると考える。

○使用する機器について

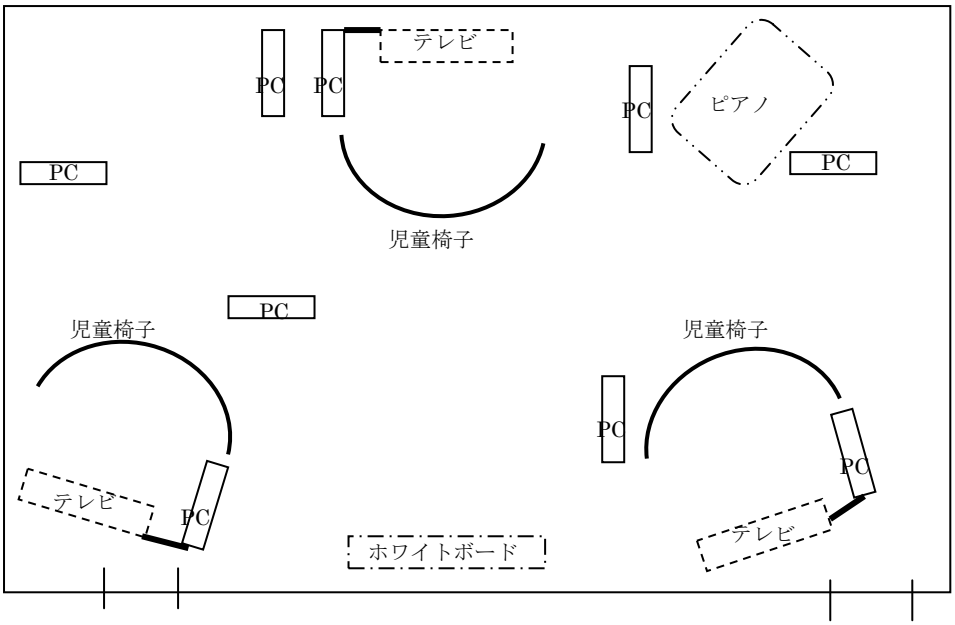
視聴覚教材

・PowerPoint 自作教材「広島旅行記」
・委員会活動　学校紹介「今週のベストショット」
・学校紹介 DVD「だいすき　下田小　下田町」

機器

・PC(WindowsXP、9 台)→各グループに 1 台ずつ。発表に必要な写真や動画を保存し、テレビに掲示する際に使用。また、デジタルカメラで撮影した自分たちの発表の様子を再生するのに使用する。
・OHP→発表の際に実物をテレビに大きく映し出す時に使用する。
・大型テレビ→PC や OHP の映像を拡大して映すために用いる。
・デジタルカメラ(9 台)→各グループに 1 台ずつ。発表の際に必要な情報を撮影し、記録する。また、自分たちの発表の様子を PC で見るために、撮影し記録するために使用する。

場の設定（第１音楽室）



６．単元目標

○自分と地域とのつながりに気付き、高齢者福祉施設に関心をもつ。

○見学を通して、自分たちにできることを考え、様々な人々と交流する。

７．育てようとする資質や能力及び態度

学習方法に関すること	○相手に伝わるように、分かりやすくまとめ、表現する。 ○体験的なかかわりのなかから、課題を見つけ、見通しをもって計画をたてる。
自分自身に関すること	○体験を通した探究活動の楽しさや自分自身の成長を実感する。 ○自分のよさに気付き、未来に向かって意欲的に生活する。
他者や社会とのかかわりに関すること	○仲間と力を合わせて課題の解決に取り組む。 ○思いを伝え合い、様々な人々と交流する。

８．関連する教科など

教科等名	学習内容	時間数
社会	「わたしたちのまち　下田」 ・４方位と学区の様子を知る。 ・学区の気になる施設やお店に行き、インタビューなどをして調べる。	8
国語	「学校行事を紹介しよう」 ・資料などから引用しながら、説明する内容や方法について話し合う。 ・準備をしたうえで、丁寧な言葉を用いるなど、適切な言葉遣いで、インタビューをすることができる。	１４

９．基本構想図

単元名「ショートステイすいらんと交流しよう」

１「わたしたちのまち　下田」（８時間）

○下田町の学区の様子を知る。

○4 方位や気になる施設について地図に書き込む。

社会「わたしたちのまち　下田」
８時間

・下田小学校のすぐ近くにある施設を見てみたいな。

・どんな人がいるのか、どんな場所なのか知りたい。

社会の「わたしたちのまち　下田」を導入として取り込んでいる。地域社会について学習する中で自分たちの身近にある施設に興味をもち、学習のきっかけとなるようにしている。

「ショートステイすいらんと交流しよう」

２「ショートステイすいらんへ行って見学しよう」（３時間）

○「ショートステイすいらん」全体やお風呂や車、大部屋などを見学し、利用者はどんな方たちなのか、何をするための施設なのかを調べる。

○見学で感じたことをまとめる。

・自分たちが見学へ行ったらとても喜んでくれた。

・もっと利用者と交流して、元気をもらいたい。

３「自分たちができる交流の方法を考えよう」（4 時間）

○すいらんを見学したことをもとに、交流の内容を話し合う。

○小グループに分かれて交流会の準備をする。

・すいらんのことを教えてもらったから今度は下田小学校や３年生のことを紹介したいな。

・上手に発表できるかな。利用者は喜んでくれるかな。

・利用者の方と交流するときに気をつけることは何だろう。

４「ショートステイすいらんと交流しよう（１回目）」（３時間）

○すいらんの利用者と交流をして地域や他者とのかかわりや、人とのふれあいの喜びや楽しさを感じる。

○自分たちの交流の内容をふりかえり、今後の計画を考える。

５「ショートステイすいらんと交流しよう（２回目）」（２４時間）**本時**

○１回目の交流会のふりかえりをもとに、２回目の交流会の計画を立てる。

○自分たちの交流の内容をふりかえる。

国語「わたしたちの学校行事」
１４時間

２回目の交流会では、子どもたちの願いのなかから下田小学校の３年生のことを紹介する活動を行う。国語の「わたしたちの学校行事」で学んだ発表の方法やインタビューの仕方をもとに進めていく。

・利用者の方たちが発表したときに拍手をしてくれたよ。

・利用者の方とお話できて楽しかったな。

・たくさん交流することができたすいらんの方々にお礼がしたいな。

６「活動をふりかえろう」（２時間）

○これまでの活動をふりかえり、学習のまとめをする。

○お世話になったすいらんの方々にお礼の手紙を書く。

１０．指導計画

活動内容	時間数	○指導のポイント　　関連する教科
１「町たんけんへ行こう」 ○下田町の学区の様子を知るために学区探検をする。 ○学区探検のなかで「ショートステイすいらん」を発見し、どのようなところなのか興味をもつ。	社会８時間	社会「わたしたちのまち　下田」 ・４方位と学区の様子を知る。 ・学区の気になる施設やお店に行き、インタビューなどをして調べる。
２「ショートステイすいらんへ行って見学しよう」 ○施設の方に案内や説明をしていただきながら、施設内を見学する。 ・ショートステイすいらん全体や、お風呂、車、大部屋などを見学する。 ・見学でわかったことを共有する。	総合３時間	○施設の様子や利用者を見学し、今後の活動の見通しをもてるようにする。
３「自分たちができる交流の方法を考えよう」 ○すいらんを見学したことをもとに、交流の内容を話し合う。 ○小グループに分かれて交流会の準備をする。 ・実行委員を中心にプログラムを考え、歌、プレゼント、ダンスのグループに分かれ、発表の準備をする。	総合４時間	○「自分たちにできることはなにか」「利用者の方に喜んでもらえることは何か」という視点から内容を話し合うようにする。
４「ショートステイすいらんと交流しよう（１回目）」 ○すいらんの利用者と交流をして地域や他者とのかかわりや、人とのふれあいの喜びや楽しさを感じる。 ○自分たちの交流の内容をふりかえり、今後の計画を考える。	総合４時間	
５「ショートステイすいらんと交流しよう（２回目）」 ○１回目の交流会のふりかえりをもとに、２回目の交流会の計画を立てる。 ・２回目の交流会では、１回目の交流会のふりかえりをもとに、下田小学校のことを紹介する活動を行う。 ・小グループに分かれて、それぞれの内容に合わせて情報を集める。 ○発表の準備をする。 ・構成を考える。 ・役割分担をして資料を作る。 ・絵や写真を活用する。	総合 14 時間 **(本時 10 時間目)**	国語「学校行事を紹介しよう」 ・資料などから引用しながら、説明する内容や方法について話し合う。 ・準備をしたうえで、丁寧な言葉を用いるなど、適切な言葉遣いで、インタビューをする。

○発表の練習をする。 ○お互いの発表を見合いながらアドバイスをし、よりよい発表に改善する。【本時】 ○自分たちの交流の内容をふりかえる。 **６「活動をふりかえろう」** ○これまでの活動をふりかえり、学習のまとめをする。 ○お世話になったすいらんの方々にお礼の手紙を書く。		○自分たちの伝えたい内容に合わせて、視聴覚機器を活用できるように支援する。 ○発表する相手（すいらんの方）にとってより分かりやすく伝えるにはどうしたらよいかという視点をもってお互いの発表を見るように指導する。

１１．本時目標

○相手に伝わるように、分かりやすくまとめ、表現することができる。

○お互いの発表を聞いて、よりよい発表になるように活動に取り組むことができる。

１２．本時展開

児　童　の　活　動	○教師のかかわり　◎機器の効果的な活用　☆評価
○これまでの学習をふりかえり、今日の学習課題を確認する。	
お互いの発表を見てアドバイスし合い、より下田小学校のことが分かる発表にしよう。	
○グループごとに発表の練習をする。	◎自分たちの伝えたいことがより伝わるようにPCを活用しながら、動画や写真を提示する。
○３か所に分かれ、ビデオカメラで発表を撮影しながら、グループごとに発表する。 ・下田小学校の歴史 ・下田小学校を案内しよう ・運動会 ・さわやかコンサート、港北区音楽会 ・なかよしコンサート ・学級目標ができるまで ・３年１組の「えがお」 ・３年１組の「元気」 ・３年１組の「思いやり」	◎発表の見合いの後に、自分たちの発表を客観的に見て、改善することができるように、お互いの発表をデジタルカメラで撮影する。 ○お互いの発表を見る視点を今回の発表の相手であるすいらんの方にとって「大きく」「見やすく」「分かりやすく」の３つに絞り、一人一人がどの視点について見合うのか明確にする。 ☆：相手に伝わるように、分かりやすくまとめ、表現することができる。（学習方法に関すること）
○アドバイスカードに、発表のよかったところとアドバイスを記入し、交流する。	☆：お互いの発表を聞いて、よりよい発表になるように活動に取り組むことができる。（他者や社会とのかかわりに関すること）
○アドバイスカードをもとに、発表の手直しをする。	◎アドバイスカードと発表の時に撮影した動画を見て、自分たちの発表のどこを改善したらよりよい発表になるのかということを考えられるように声かけをする。
○今日の学習のふりかえりをする。	